



# 日本音楽と西洋音楽の様々な接点

## パート1. 西洋文化に日本文化が入って行く過程

最初は誤解されていた日本音楽が段々と西洋音楽に取り入れられていく様を聴く。

### 1. 混乱

海外の人たちに、初めて正式に日本の文化が紹介されたのは、1867年のパリ万国博覧会での事でした。続いてウィーン万国博覧会でも紹介され、その日本の美術作品は当時のパリの画家たちに衝撃を与え、庶民の間でも日本風の扇子や陶器などが大流行いたしました。しかし、「音楽」に限っていえば、大変な誤解を皆さんお持ちだったようです。以下の2曲は日本をモチーフに作られた作品ですが、日本というよりはどこかほかの国の音楽を連想させます。皆さんの耳にはどこの国の作品に聞こえるのでしょうか？

- \*サン＝サーンス作曲 オペラ「黄色い女王」序曲  
(黄色い女王とは日本の女王を指します)
- \*ポルディーニ作曲 日本風練習曲

### 2. 音楽の中の印象派

美術の分野の印象派の作品は、多かれ少なかれ日本の影響を受けた上に成り立っています。音楽の分野の中で、一番の日本びいきだった作曲家と言えばドビュッシーでしょう。彼の部屋には、日本の浮世絵や陶器等の美術品のコレクションが今でもずらりと並んでいるのです。彼は、日本の音楽と言うよりは、このような日本のビジュアル・アートに影響を受けて、自身の音楽作品を書きあげていきました。ですから、サウンド的には日本的ではないのですが、作品のテクスチュアの中に日本美術からの影響を聴くことができます。

- \*「映像第2集」より  
第1番「葉ずえを渡る鐘の音」  
第3番「金色の魚」

### 3. 音楽の中のジャポニズム

そして、時代が進むと飛行機の発達により、ようやく西洋の方々も日本に実際に訪れることが出来るようになり、日本の空気、音、香り等々を実際に体感できるようになると、ようやくこのような作品が誕生いたしました。海外の方々に、このような素晴らしい日本へのオマージュ作品を書いていただけようになった事に、感激しない日本人はいないでしょう。

- \*タンスマン作曲 日光の哀しみ
- \*ジル＝マルシェ作曲 吉原帰り

# 休憩

## パート 2 日本の作曲家がどのように西洋音楽文化に追いついていったのか？

さて、日本の浦賀に 1853 年に黒船がやって来て、200 年続いた鎖国政策に終わりを告げると、海外の新しい文化・技術を学ぼうという方向に時代は動き始めました。1879 年には、現在の東京芸術大学の前身である音楽取調掛（おんがくとりしらべがかり）が設立され、西洋の音楽が沢山日本にも入って来るようになりました。そして、たかだかそのあと 50 年の間に、以下のような素晴らしい作品が生み出されたのですが、大半の日本人がこのことを知らないのは、私たち音楽家の努力が足りないのか、なぜなのか・・・？

### 4. 初期の日本人作曲家によるクラシックピアノ曲

滝廉太郎、山田耕筰、成田為三、この 3 人の代表作は『荒城の月』『赤とんぼ』『浜辺の歌』といった童謡や歌曲ではないでしょうか。ところが、ピアノ曲やオーケストラの為の作品も多数手掛けていて、その作品の完成度、美しさには誰もが驚愕するところだと思います。ここでは彼らの残したピアノ作品をお聞きいただきます。

- 滝廉太郎作曲
- ・メヌエット（日本人によるピアノ作品第 1 号！）
  - ・憾み（うらみ）（23 歳と言う若さで死ななければならなかった彼の残念無念さが現れた作品）
- 山田耕筰作曲
- ・夜の詩曲（ドイツ留学の帰路に、スクリャービンの作品をモスクワで聞き、それこそが自分の求めていた作品だと悟り、彼への敬意が現れている作品）
  - ・ピアノの為の「からたちの花」（あの彼の歌曲の名作を彼自身が美しいピアノ作品へと編曲いたしました。）
- 成田為三作曲
- ・フーゲ
  - ・ピアノソナタ第 1 楽章  
（成田為三は山田耕筰の弟子でもありました。山田と同じくドイツに留学しました。彼のピアノ曲の大半は戦火で焼かれてしまいましたが、上手く残されたこれらの作品からも彼の非常に高い作曲技術を聴く事ができます。）

### 5. 初の国際的日本人作曲家

そして、日本にクラシック音楽が導入されて 80 年後には、武満徹という巨人が現れ、新しい作品が次々と発表された。「ロマンス」は彼の初期の作品で、彼のただ 1 人の作曲の師である清瀬保二に捧げられた作品で、日本の情緒に溢れた作品となっております。

- 武満徹作曲
- ・ロマンス

## パート 3

### 6. 現在

ボーダーレスの時代に入り、現在は作曲家は様々な文化と遭遇しインスピレーションを得て作品を生み出している。本日の締めくくりとして、グァテマラの作曲家ホルヘ・サルミエントス氏が、宮川久美という日本人ピアニストの為に書いた作品をお聞きいただく。彼が、宮川の中に見出したものはジャポニズムなのか、果たして何なのか、皆さんの耳で是非確かめて頂きたい。

- ホルヘ・サルミエントス作曲
- ピアノの為の 3 つのモチーフ（宮川久美に捧げる）